

編集後記

- 今回は、第6回の学術奨励賞を受賞された小柳会員の受賞論文と、第15回学術大会で開催されたワークショップ「様々な時間軸の生態リズムと生物多様性」のシンポジストの先生方に総説をご寄稿頂きました。概日リズム以外にも、概潮汐リズム、超短周期の現象、さらには季節性などの興味深い周期現象について、解説いただいております。
- 15巻1号から、表紙のデザインを一新しました。岩崎編集委員の発案で、リズムや周期性などをイメージしたアートを表紙に採用することにしました。記念すべき本号は、本学会名誉会員の千葉喜彦先生の作品「夜行性」を使わせて頂きました。ご存知のように、千葉先生は時間生物学者であるとともに、アーティストとしても著名で、その作品は数々の賞を受賞されておられます。特に時間を意識された作品を数多く製作されておられ、それらの一部は先生のホームページ (<http://www.cable.ne.jp/~y-chiba/index.htm>) で紹介されています。
- 本年から、本紙の総説等の体裁も一部変更いたしました。文献番号を従来のアルファベット順から引用順に変更し、また本文への引用の表記も変更いたしました。詳しくは執筆要領をご覧ください。
- 今年は、時間生物学会関係の学術集会がたくさん予定されております。7月にはGordon Conference、8月には生物リズムに関する札幌シンポジウム、本学会も共催としている欧州時間生物学会、10月には本学会の学術大会がアジア睡眠学会、日本睡眠学会と合同で開催されます。これらの学会活動は日本の時間生物学が大変活発であることを物語っています。これらの学術集会を更なる糧として、会員の皆様がますます発展されますよう、心より祈ります。

時間生物学 Vol. 15, No. 1 (2009)

平成21年5月31日発行

発行：日本時間生物学会 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsc/index.html>)

(事務局) 〒162-8480 東京都新宿区若松町2-2

早稲田大学先端生命医科学センター 柴田研究室内

Tel&Fax：03-3341-9815

(編集局) 〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1

岡山大学大学院自然科学研究科 生物科学専攻内

Tel&Fax：086-251-8498

(印刷所) 名古屋大学消費生活協同組合 印刷・情報サービス部